

モーニングセミナー 1 【MS1】

日時：2026年4月10日(金) 7:50~8:50

会場：Room 3 203+204 (福岡国際会議場)

4月10日(金)

Santen

アレルギー性結膜炎の
最新知見と治療戦略

アレルギー性結膜炎の患者さんは、目のかゆみがQOLに影響を与えることが示唆されており^{1,2)}、かゆみの発生頻度を抑えることが重要です。

アレルギー性結膜炎に関する研究は日々進展しており、疫学調査や病態解明が進められております。特に炎症制御機構については、杯細胞が花粉の殻に反応してGoblet cell associated antigen passage (GAP)を介し、アレルゲンの取り込みに重要な働きをしているという知見が報告されています。

アレルギー性結膜炎の治療においては、まもなく発売から2年を迎えるアレジオン®眼瞼クリームについて、臨床研究を通じて使用実態や患者満足度など、新たなデータが蓄積されつつあります。

そこで本セミナーでは、エキスパートの先生方からそれぞれアレルギー性結膜炎における最新研究と、アレジオン®眼瞼クリームに関する新たな知見についてご解説いただきます。明日からの診療に役立つ非常に興味深い内容になるかと思しますので、ぜひご参加ください。

1) 深川和己 他: アレルギーの臨床, 39, 825 (2019)

利益相反: 著者は本調査を実施した参天製薬株式会社とアドバイザー契約を結んだ医学専門家及び参天製薬株式会社の社員である。

2) 深川和己 他: アレルギーの臨床, 43, 1034 (2023)

利益相反: 著者は本調査を実施した参天製薬株式会社とアドバイザー契約を結んだ医学専門家及び参天製薬株式会社の社員である。

座長



海老原 伸行 先生

(順天堂大学医学部附属浦安病院)

演者
1

アレルギー性結膜炎における炎症制御の最前線

木村 芽以子 先生 (順天堂大学医学部附属浦安病院)

演者
2アレルギー性結膜炎治療における選択肢
-アレジオン®眼瞼クリームの可能性-

角 環 先生 (高知大学)

